



未来に引き継ぐ大自然

日本の国立公園

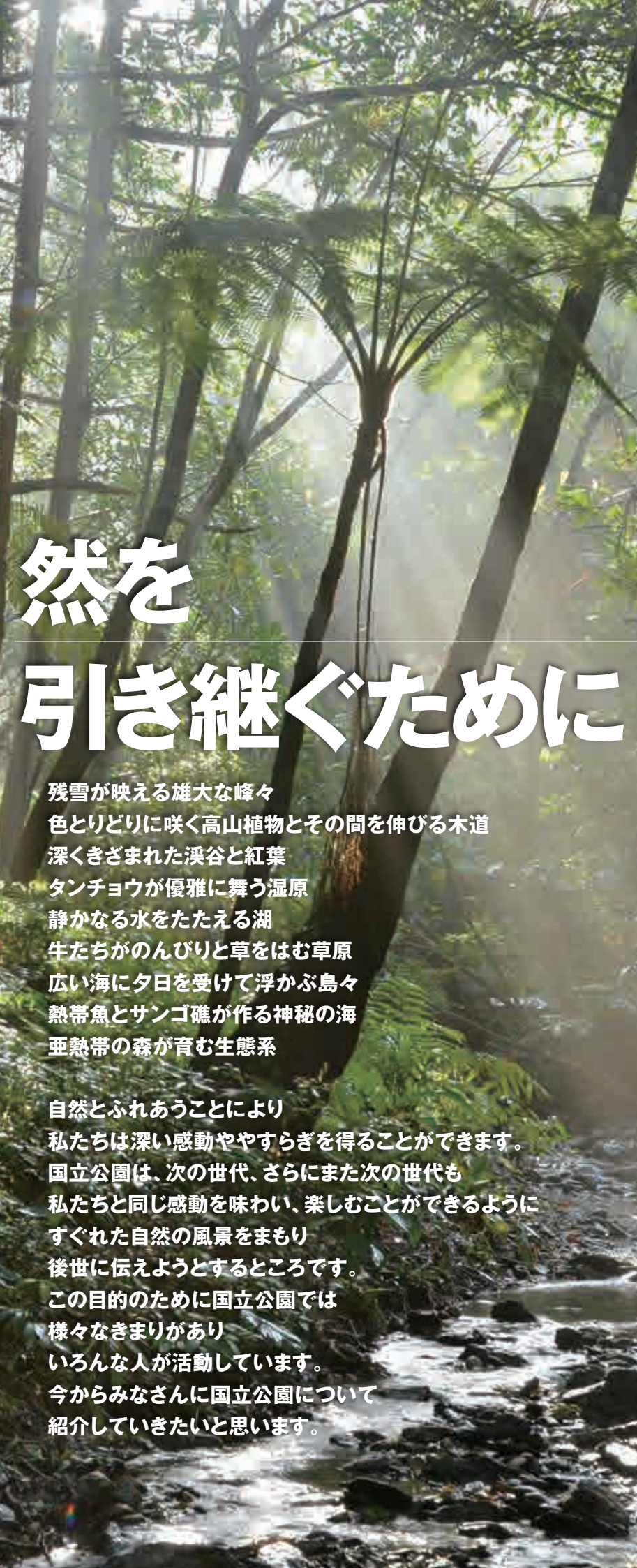
National Parks of Japan



環境省



すぐれた自 後の世代に



然を 引き継ぐために

残雪が映える雄大な峰々
色とりどりに咲く高山植物とその間を伸びる木道
深くきざまれた溪谷と紅葉
タンチョウが優雅に舞う湿原
静かなる水をたたえる湖
牛たちがのんびりと草をはむ草原
広い海に夕日を受けて浮かぶ島々
熱帯魚とサンゴ礁が作る神秘の海
亜熱帯の森が育む生態系

自然とふれあうことにより
私たちは深い感動ややすらぎを得ることができます。
国立公園は、次の世代、さらにまた次の世代も
私たちと同じ感動を味わい、楽しむことができるように
すぐれた自然の風景をまもり
後世に伝えようとするところです。
この目的のために国立公園では
様々なきまりがあり
いろんな人が活動しています。
今からみなさんに国立公園について
紹介していきたいと思います。

国立公園って何だろう？

日本の国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法という法律に基づいて国（環境省）の指定を受け、管理されています。国立公園は、全国で35カ所が指定されていて、57カ所ある国定公園、300カ所を超える都道府県立自然公園とともに、日本の自然公園のネットワークを作り、その中心となっています。国立公園の面積は合計約244万ヘクタールで、日本の国土面積の約6.5%を占めています。国立公園は開発の波から自然を守り、自然とのふれあいの場としてだれもが利用できるところで、年間約3億もの人が訪れています。



南アルプス国立公園

国立公園の歴史をみてみよう

世界で初めて国立公園を作ったのはアメリカ合衆国で、1872年にイエローストーン国立公園が指定され、やがて世界各国に広まりました。日本もアメリカ合衆国の国立公園制度などを手本にして準備をすすめて、1934年3月に初めて瀬戸内海、雲仙及び霧島の3つの国立公園が指定されました。

第2次世界大戦までに12の公園が指定され、戦後さらに公園が指定され、2024年には35番目の国立公園として 日高山脈襟裳十勝国立公園が指定され、現在にいたっています。

日本の国立公園の特色は？

狭い国土に大勢の人が住み、昔から土地をきめ細かく利用してきた日本では、広い国土を持つアメリカ合衆国とは異なり、国立公園の土地すべてを公園専用とすることはできません。そのため、日本の国立公園は、多くの民有地も含んで指定されています。この結果、集落や住宅地があるところや、農林業などの産業が行なわれているところも含まれています。国立公園の管理は、人々のくらしやこれらの産業などとの調整をしながら進められています。



日高山脈襟裳十勝国立公園

国立公園のしくみ

国立公園の中には、ほとんど人の手の加わっていないところもあれば、集落や観光地として開発されているところ、農林業などの産業に使われているところもあります。そこで、その土地の自然の状態や使われ方によって、公園内をこまかく分け、どのように保護していくか定めています。また、みなさんにどのように自然に親しんでもらうかを考えた上で道路や山小屋などの施設をどこにつくるか定めています。

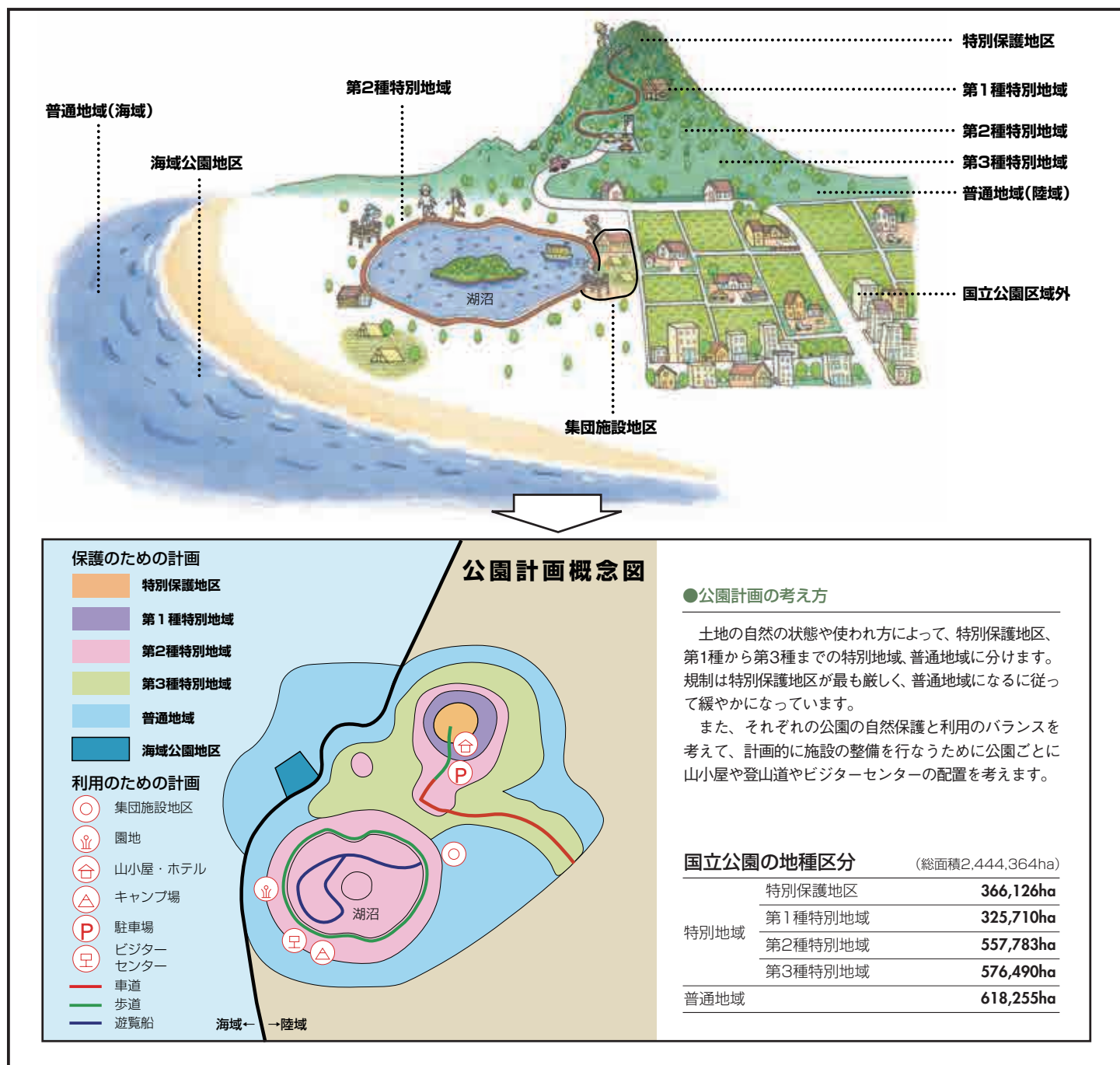
このようにして定められた計画を、公園計画といいます。



しこつとうや
支笏洞爺国立公園

公園計画

国立公園ごとに定めた公園計画に従って、自然の保護と利用を進めています。



国立公園の保護

国立公園のすばらしい自然を守り、今の姿をそのまま後世に引き継ぐことは、今生きている私たちの責任です。

そのために、国立公園では、自然の風景とその基盤となる豊かな生物多様性を守るために一定のきまりを定めています。また、傷ついた自然を回復させるための努力や、増えすぎたシカの対策、外来生物の対策など、いろいろなことを行なっています。



サンゴを食べるオニヒトデの駆除

自然を保護するための取組み

自然を保護するために行なわれていることを、いくつか紹介します。



行為の規制

国立公園の中では、自由に建物を建てたり、木を切ったりするなどは、自然公園法で規制されています。特に大切なところ(特別保護地区)では、植物や昆虫の採集はもちろん、たき火をしたり、落ち葉を拾うこともできません。



自動車などの乗り入れの規制

ウミガメが卵を産みに来る砂浜や、貴重な植物の生育地などは人為による影響をとっても受けやすい地域です。そのような地域を指定して野生生物の生息・生育環境などに悪影響を与えないように、自動車、スノーモービル、モーターボートなどが入ることも規制しています。



マイカーの規制

たくさんの自家用車による排気ガスで道路沿いの木が枯れたりすることを防いだり、車の渋滞を解消するためマイカーの利用を規制し、バスなど限られた車だけで人を運ぶようにしています。富士山、上高地、尾瀬、屋久島など、利用者の集中する国立公園で行なっています。



自然再生

国立公園の中にも、過去に損なわれた自然を積極的に取り戻すことが必要な場所があります。そこでは、地元の人々や専門家と協力して調査・対策・モニタリングを繰り返しながら、湿原を回復させたり、森を元の植生に戻したりと、自然生態系の健全性を取り戻す活動を行っています。



美化清掃

自然の中に残されたゴミは、見た目が汚いだけでなく、動植物の生態にも悪影響を与えます。ゴミは自宅まで持ち帰るのが原則ですが、捨てられたゴミを片づけたり、トイレのし尿をきちんと処理し、施設を清潔に保つことも、大切な仕事です。国立公園の美化清掃のために、多くの人が働いています。



民有地の買上

日本の国立公園は、その中に民有地が多く含まれています。このようなところではいろいろな行為にきびしい規制を加えるのはむずかしいので、自然の大切なところでは、民有地を買上げる制度があります。

みなさんに心がけてほしいこと



国立公園を訪れる“みなさん”もまた、自然をまもるパートナーです。国立公園の自然をまもるためには、訪れる人の心がけもたいせつです。自然を傷つけないために、訪れる人は皆、少なくとも次のことを守ってください。

①ゴミは捨てずに自宅まで持ち帰る ②歩道をはすれて湿原などに入らない ③植物や動物を採らない

また、自然は、つねに美しく楽しい面だけを見せてくれるわけではありません。高い山への登山や海でのシュノーケリングなど、急な天候の変化や事故・災害などに対しては、それなりの準備と心がまえが必要です。

国立公園の利用

国立公園は、自然を守るだけでなく、自然についての知識を深めたり、健康やレクリエーションのために、自然とふれあうところでもあります。

国立公園のすぐれた自然を利用して、毎年延べ3億もの人が登山やハイキング、自然観察などを行ない、自然とのふれあいを楽しんでいます。そのため、歩道や園地など、施設の整備もすすめられています。

自然とのふれあい方は人それぞれなので、さまざまな場面で自然とのふれあいの手助けをしています。



遊歩道の整備

自然とのふれあい

国立公園では、自然とのふれあい活動を助けるために、さまざまな取り組みをしています。

●自然ふれあい活動

登山やハイキング、スキー、キャンプ、カヌー、シュノーケリング、バードウォッチングや自然観察など、経験や体力に応じて、自然とのふれあい方は様々です。国立公園では、歩道やキャンプ場など自然とのふれあいの場を整備し、みなさんに提供しています。



●ビジターセンター

国立公園の自然や歴史を知り、より深く自然とふれあえるように、国立公園の主たるところにはビジターセンターが作られています。ビジターセンターでは、展示やスライド・ビデオなどでその公園の紹介やガイドを行なっているほか、自然観察会やクラフト教室など、さまざまな行事が行なわれています。



那須高原ビジターセンター



シュノーケリングによる海中観察や自然解説

インターネットでアクセスしてみよう

国立公園の景色や自然は、国立公園ホームページ(<https://www.env.go.jp/park/>)で紹介しています。このページでは、それぞれの国立公園の最新ニュースや自然観察会などのイベント情報や動植物などの情報がわかります。さらに、国立公園の美しい風景の写真をダウンロードできたり、最新のライブ映像を見たり(※)することができます。国立公園ホームページにアクセスすれば、出かける前に情報を得たり、実際に行くことができなかったり、それぞれの国立公園の特色や自然を知って、楽しむことができます。

※インターネット自然研究所(<https://www.sizenken.biodic.go.jp>)へのリンクとなります。



国立公園ホームページ

国立公園を支える人たち

国立公園管理などのため、環境省では全国に7の地方環境事務所と100あまりの出先機関を設置しています。そこでは、国立公園管理官・自然保護官（レンジャー*）、アクティブ・レンジャーが働いています。また、パークボランティア**など、多くの人たちがレンジャーと力を合わせて活動しています。



国立公園管理官・自然保護官（レンジャー）

パートナーシップ

レンジャーのほか、大勢の人たちが国立公園のために活動しています。

パークボランティア

国立公園ごとに登録をして、自然解説、美化清掃、施設の簡単な修繕、自然の調査など、自分のできごとに合わせて活動してもらっています。いま、全国で約1,500人が登録されています。



子どもパークレンジャー

小学生から中学生のみなさんが、レンジャーやパークボランティアとともに、国立公園のパトロールや、動物や植物の簡単な調査などを行ないます。全国の国立公園などで夏休みを中心に毎年行なっています。



自然公園指導員

自然公園を訪れる人にルールを守ってもらうよう注意したり、遭難などの事故を防ぐためパトロールなどの活動を行なっています。また、公園内の施設が破損していないかなどかなどの状況報告を行なってもらっています。



グリーンワーカー

貴重な植物の盗掘防止や動植物調査、また、登山道の手入れのような特別な技術が必要とするなど、ボランティア活動では難しい仕事については、地元の人たちに行なってもらっています。



* 国立公園の現場にいる環境省の職員をレンジャーといいます。国立公園の様々な手続きを扱うほか、公園のパトロール、公園をどのように保護・利用していくかの計画づくり、環境省が持っている土地などの管理や公園の自然についての調査をしています。また、自然観察会を実施するなど、国立公園を訪れる人々とのふれあいの手助けもしています。

** パークボランティアや子どもパークレンジャーの募集については、各地方環境事務所等にお尋ねください。

どんな活動をしているか 公園管理団体の活動と風景地保護協定

阿 蘇くじゅう国立公園の阿蘇地域では、平成15年12月から、(財)阿蘇グリーンストックが公園管理団体として活動しています。公園管理団体は、環境大臣の指定を受けたNPO法人や公益法人で、自然の風景地の管理、歩道や園地等の点検・補修などを業務としており、同財団は、草原景観を保全するための野焼きなどの管理作業を支援しています。また、活動する地域の中には、一定期間、土地の所有者等に替わって管理を行う風景地保護協定の締結地があります。



野焼き（草原管理）作業

環境省 地方環境事務所等一覧

北海道地方環境事務所	〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎3F	TEL 011-299-1950
釧路自然環境事務所	〒085-8639 北海道釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎4階	0154-32-7500
東北地方環境事務所	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第二合同庁舎6階	022-722-2870
福島地方環境事務所（※）	〒960-8031 福島県福島市栄町11-25 AXCビル4階、6階	024-573-7330
関東地方環境事務所	〒330-9720 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1 さいたま新都心合同庁舎1号館6階	048-600-0516
中部地方環境事務所	〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-2	052-955-2130
信越自然環境事務所	〒380-0846 長野県長野市旭町1108 長野第一合同庁舎3階	026-231-6570
近畿地方環境事務所	〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-8-75 桜ノ宮合同庁舎4階	06-6881-6500
中国四国地方環境事務所	〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎11階	086-223-1577
四国事務所	〒760-0000 香川県高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎南館2階	087-811-7240
九州地方環境事務所	〒860-0047 熊本県熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎B棟4階	096-322-2400
沖縄奄美自然環境事務所	〒900-0022 沖縄県那覇市樋川1-15-15 那覇第一地方合同庁舎1階	098-836-6400

これらの地方環境事務所等のもとに、きめ細やかな現地管理を行う自然保護官事務所等が設置されています。

※福島地方環境事務所については、国立公園管理は行っていないです。

表紙の写真（上）中部山岳国立公園
（中）尾瀬国立公園
（下）慶良間諸島国立公園

環境省自然環境局国立公園課

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

中央合同庁舎5号館

TEL.03-3581-3351（代表）

環境省ホームページ：<https://www.env.go.jp>

国立公園ホームページ：<https://www.env.go.jp/park/>

令和7年1月 発行

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

日本の国立公園

環境省自然環境局 Nature Conservation Bureau, Ministry of the Environment



26 足摺宇和海国立公園

指定：1972年11月10日

四国の西南端、愛媛県から高知県にかけての南部的な海岸公園。南部の足摺岬は、スケールの大きな断崖が連なり、北部の宇和海は細かく出入りする海岸線と島々が作る景色が特徴。また、竜串の海中公園は、サンゴや熱帯魚など色彩豊かな海の景色を楽しめる。



22 吉野熊野国立公園

指定：1936年2月1日

紀伊半島の中央山岳地帯と山間を延々と蛇行して流れる川及び半島南東部の海岸からなる公園。桜と史跡の吉野山、古くから修験道の道場とされてきた天峯山脈や熊野三山が広く知られている。また、尾鷲から湖岸の長い海岸は断崖が数多く、変化に富んだ景色が見られる。



27 西海国立公園

指定：1955年3月16日

佐世保の九十九島から平戸島、五島列島を含む海の公園。大小400近くの島々の風景が特長であり、多数の小島が密集する九十九島や吉松瀬戸の景色が代表的。また、島々には断崖地形が多く、福江島には珍しい火山地形がある。



28 雲仙天草国立公園

指定：1934年3月16日

島原半島の中央にある雲仙岳周辺地域と、天草諸島からなる。雲仙地域は1990年の火山活動で有名な普賢岳や雲仙温泉地を中心とする避暑地の一つ。天草地域は、有明海や八代海に浮かぶ大小120の島々の景色が美しい。



29 阿蘇くじゅう国立公園

指定：1934年12月4日

周囲約100kmに及び世界最大級のカルデラや火山活動でできた多数の山々を持つ火山の公園。阿蘇地域は、今も噴煙をあげる中岳など阿蘇五岳と草原が作る雄大な景色が特徴。くじゅう地域は、くじゅう連山、由布岳などの景色が優れている。ミヤマキリシマンの生育地で名高い。



24 瀬戸内海国立公園

指定：1934年3月16日

瀬戸内海の島々は、小さなもので数えると約1,000にもなるといわれ、鷺羽山から眺める備前諸島など、静かな海と密集する島々の景色が特徴。また、流川海岸や摩耶松原など白い砂浜に松の緑が映える浜辺が各所に見られ、段々畑など、人の生活と自然が一体となった親しみ深い風景も特徴。



25 大山隠岐国立公園

指定：1936年2月1日

中国山地最高峰の大山（1,729m）から蒜山までの山岳地帯と隠岐諸島、島根半島海岸部、及び三瓶山一帯からなる。山頂部東側が大きく崩れて荒々しい岩壁となっている大山と、海水などの浸蝕によってできた断崖が連なる隠岐島の景色が代表的。



16 富士箱根伊豆国立公園

指定：1936年2月1日

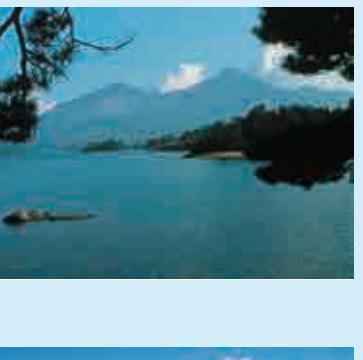
日本の最高峰であり、世界文化遺産に登録された富士山と、その裾野の富士五湖や青木ヶ原湖の雄大な景色が特徴。箱根は神山、駒ヶ岳の火山と仙石原、丹波湖が作る箱庭のような景色。伊豆は天城山などの山々と東西両海岸の景色が優れている。また、伊豆諸島は各島特有の自然と景色に恵まれている。



10 磐梯朝日国立公園

指定：1950年9月5日

山岳信仰の地として名高い出羽三山、奥深い朝日・飯豊連峰の山々、磐梯山と大い多数の湖沼の眺めが美しい東磐梯及び猪苗代湖など。山と森と湖に恵まれた公園。カモシカ、ツキノワグマなどの生息地にもなっている。



11 日光国立公園

指定：1934年12月4日

日光東照宮の歴史的建築、山上の避暑地中禅寺湖畔や戦場ヶ原に代表される奥日光、鬼怒川や塩原の渓谷、那須連山の麓に広がる高原など、多様な表情を合わせ持つ公園。首都圏に近く、アクセスしやすい。



12 尾瀬国立公園

指定：2007年8月30日

ミズバショウなどの湿原植物が豊かな尾瀬ヶ原や田代山山頂に代表される湿原景観、焼ヶ岳や会津駒ヶ岳に代表されるオオシラビソやブナ、ダケカンバといった森林景観がみられる。



19 上信越高原国立公園

指定：1949年9月7日

群馬、長野、新潟県にまたがる山と高原の公園。谷川岳など2000m級の険しい山々や、浅間山、草津白根山などの火山が多く、また一方で、志賀高原、菅平高原など広大な山岳地帯が所々に見られる。



14 秩父多摩甲斐国立公園

指定：1950年7月10日

雲取山、御岳山など古い地層の山が多く、コメツガやシラビソの自然林が見られる。都心から近く、荒川、千曲川、多摩川、箱根川などの源流域で、自然豊かな森林と渓谷が絶好の野外レクリエーションの場となっている。御岳山、三峰山は古くからの山岳信仰の地。



16 小笠原国立公園

指定：1972年10月16日

東京の南方、1000～1200kmに浮かぶ小笠原諸島のうち、父島、母島などの大小30余りの島々からなる亜熱帯の国立公園で、面積が最も小さい。海洋に囲まれているため、オガサワラオコウモリ、ムニンボンタンなど、固有の動植物が多いことが特徴で、平成23年6月に世界自然遺産に登録。



17 中部山岳国立公園

指定：1934年12月4日

北アルプスの白馬岳、立山、槍ヶ岳、穂高岳、乗鞍岳など、3000m級の山々が南北に連なる日本を代表する山岳公園。奥御川や梓川などの河川が作る渓谷や深流が美しい。また、赤松ヶ原、五色ヶ原など所々にお花畑があり、夏のシーズンには高山植物が咲き乱れる。ライチョウの重要な生息地。



18 妙高戸隠連山国立公園

指定：2015年3月27日

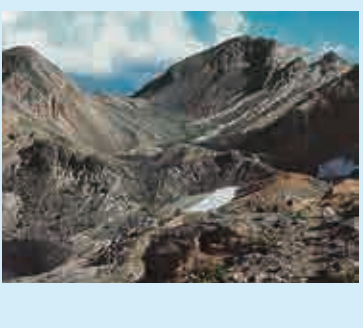
妙高山、飯縄山などの火山と戸隠山、雨鈴山などの非火山が連なり、多様な山々が密集した公園。堰止湖である野尻湖はナウマン象の化石発掘でも有名。天の岩戸伝説の戸隠神社など文化的にも興味深い。



19 白山国立公園

指定：1962年11月12日

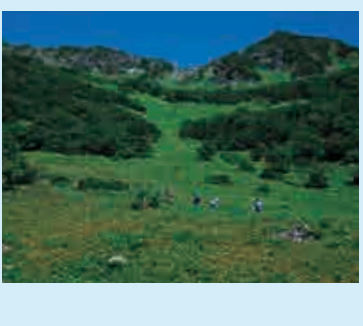
白山は、昔から信仰の山として登山が行なわれ、富士山、立山と並んで日本三霊山の一つに数えられている。高山植物の宝庫として、植物研究の歴史も古く、白山にちなんだ名前を持つ植物も多く、またツキノワグマ、カモシカなどの生息地としても有名。



20 南アルプス国立公園

指定：1964年6月1日

山梨、長野、静岡の3県にまたがる。日本で2番目の高峰、北岳（3,193m）をはじめ3000m級の山々がつづく山岳公園。北岳や仙丈ヶ岳には、高山植物のお花畑が見られ、ここしかない貴重な種もある。



21 伊勢志摩国立公園

指定：1946年11月20日

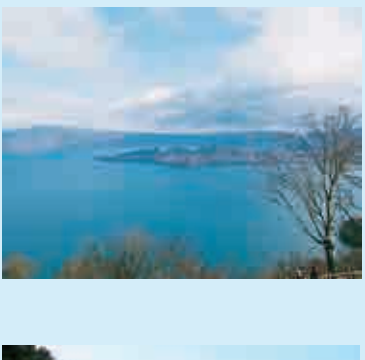
鳥羽湾からの矢野、美濃湾、五ヶ所湾と続く海岸の深い入り江や島々が作る風景が優美。伊勢神宮は日本の信仰、歴史、文化の上で重要な地であり、神宮の奥山の宮域林には、スキヤシ類、クスノキなどが混じった自然林が広がる。



8 十和田八幡平国立公園

指定：1936年2月1日

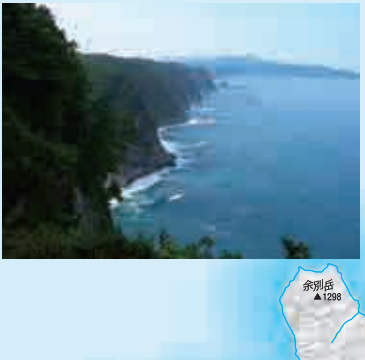
雄大な十和田湖とそこから流れ出る奥入瀬は、豊かな緑と水の美しさをたたえている。八幡平一帯では、岩手山などの火山のほか、アオモリトドマツの森林が広がり湿原も多い。古くからの治癒場も点在し、登山と温泉が楽しめる。



3 三陸復興国立公園

指定：1955年5月2日

青森県の荒島から宮城県の牡鹿半島までの約250kmにわたる公園。北部の海岸は豪大な大断崖がつづき、南部は優美に入り組んだリアス海岸。ウミネコ、オオミズナグドリなど海鳥の繁殖地にもなっている。東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するために、2013年5月24日に再編成された。



1 利尻礼文サロベツ国立公園

指定：1974年9月20日

日本最北端の国立公園。海からそそり立つような利尻山やレパンツアモリソウなど高山植物が咲き乱れる礼文島、湿原植物が豊かなサロベツ湿原と種族内の砂丘林などに富んだ景観が楽しめる。



5 大雪山国立公園

2 知床国立公園

3 阿寒摩周国立公園

4 釧路湿原国立公園

7 支笏洞爺国立公園

6 日高山脈襟裳十勝国立公園

9 三陸復興国立公園

8 十和田八幡平国立公園

10 磐梯朝日国立公園

11 日光国立公園

12 尾瀬国立公園

14 秩父多摩甲斐国立公園

16 小笠原国立公園

17 中部山岳国立公園

18 妙高戸隠連山国立公園

19 上信越高原国立公園

20 南アルプス国立公園

21 伊勢志摩国立公園

22 吉野熊野国立公園

24 瀬戸内海国立公園

25 大山隠岐国立公園

26 足摺宇和海国立公園

27 西海国立公園

28 雲仙天草国立公園

29 阿蘇くじゅう国立公園

30 霧島錦江湾国立公園

31 屋久島国立公園

32 奄美群島国立公園

33 やんばる国立公園

34 慶良間諸島国立公園

35 西表石垣国立公園

36 奄美群島国立公園

37 奄美群島国立公園

38 奄美群島国立公園

39 奄美群島国立公園

40 奄美群島国立公園

41 奄美群島国立公園

42 奄美群島国立公園

43 奄美群島国立公園

44 奄美群島国立公園

45 奄美群島国立公園

46 奄美群島国立公園

47 奄美群島国立公園

48 奄美群島国立公園

49 奄美群島国立公園

50 奄美群島国立公園

51 奄美群島国立公園

52 奄美群島国立公園

53 奄美群島国立公園

54 奄美群島国立公園

55 奄美群島国立公園

56 奄美群島国立公園

57 奄美群島国立公園

58 奄美群島国立公園

59 奄美群島国立公園

60 奄美群島国立公園

61 奄美群島国立公園

62 奄美群島国立公園

63 奄美群島国立公園

64 奄美群島国立公園

65 奄美群島国立公園

66 奄美群島国立公園

67 奄美群島国立公園

68 奄美群島国立公園

69 奄美群島国立公園

70 奄美群島国立公園

71 奄美群島国立公園

72 奄美群島国立公園

73 奄美群島国立公園

74 奄美群島国立公園

75 奄美群島国立公園

76 奄美群島国立公園

77 奄美群島国立公園

78 奄美群島国立公園

79 奄美群島国立公園

80 奄美群島国立公園

81 奄美群島国立公園

82 奄美群島国立公園

83 奄美群島国立公園

84 奄美群島国立公園

85 奄美群島国立公園

86 奄美群島国立公園

87 奄美群島国立公園

88 奄美群島国立公園

89 奄美群島国立公園

90 奄美群島国立公園

91 奄美群島国立公園

92 奄美群島国立公園

93 奄美群島国立公園

94 奄美群島国立公園

95 奄美群島国立公園

96 奄美群島国立公園

97 奄美群島国立公園

98 奄美群島国立公園

99 奄美群島国立公園

100 奄美群島国立公園

101 奄美群島国立公園

102 奄美群島国立公園

103 奄美群島国立公園

104 奄美群島国立公園

105 奄美群島国立公園

106 奄美群島国立公園

107 奄美群島国立公園

108 奄美群島国立公園

109 奄美群島国立公園

110 奄美群島国立公園

111 奄美群島国立公園

112 奄美群島国立公園

113 奄美群島国立公園

114 奄美群島国立公園

115 奄美群島国立公園

116 奄美群島国立公園

117 奄美群島国立公園

118 奄美群島国立公園

119 奄美群島国立公園

120 奄美群島国立公園

121 奄美群島国立公園

122 奄美群島国立公園

123 奄美群島国立公園

124 奄美群島国立公園

125 奄美群島国立公園

126 奄美群島国立公園

127 奄美群島国立公園

128 奄美群島国立公園

129 奄美群島国立公園

130 奄美群島国立公園

131 奄美群島国立公園

132 奄美群島国立公園

133 奄美群島国立公園

134 奄美群島国立公園

135 奄美群島国立公園

136 奄美群島国立公園

137 奄美群島国立公園

138 奄美群島国立公園

139 奄美群島国立公園

140 奄美群島国立公園

141 奄美群島国立公園

142 奄美群島国立公園

143 奄美群島国立公園

144 奄美群島国立公園

145 奄美群島国立公園

146 奄美群島国立公園

147 奄美群島国立公園

148 奄美群島国立公園

149 奄美群島国立公園

150 奄美群島国立公園

151 奄美群島国立公園